

宮崎小学校 令和4年度 生活科・総合的な学習の時間

- ・低学年の生活科では「自立の基礎」を培うことを目標とする。
- ・中・高学年では、「自立の基礎」をもとにして、『人・もの・こと』との関わりを通し、問題解決能力を育て、「自分らしい生き方を考える」ことができるようにする。

スコープ	スコープの基本目標 (育てたい力)
環境	身近な自然についての理解を深め、自然との共生を積極的に図るとともに自分のできる方法で環境を守ったり、よりよい環境をつくったりする資質や能力を育てる。
健康	生きていることのすばらしさや生命の尊さに気付き、自分や他人の生命を尊重する心をもつとともに、心身共に健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。
地域・学校	家庭や学校、地域社会における生活上の諸問題について理解を深め、よりよい生活の実現に向けて意欲的、協力的に取り組むことのできる資質や能力を育てる。
国際理解	我が国の歴史や文化について関心や愛着をもつとともに、異なる文化を理解したり尊重したりする、国際社会の一員として共に生きる資質や能力を育てる。
情報	多くの情報の中から自分に必要な情報を収集・選択したり、活用したりすることができ、さらに積極的に発信できる資質や能力を育てる。
福祉	地域に住む高齢者と触れ合う機会を通して、生きる知恵を学んだり、人としての温かさを感じたりすることで、自ら地域に積極的に働きかけていく姿勢や態度を養う。

(イ) 年間指導計画

	1・2年生	3・4年生	5・6年生
情報	マウスの操作に慣れる	ソフトの操作に慣れる	インターネットを使って情報を検索し、自ら進んで学習する
環境 (愛鳥活動)	< 3・4年生 >		
	シ ○鳥と仲良くなろう ・学区に生息する野鳥とふれ合い、身近な自然の存在と良さを知る。 シン ・学区の自然と自分たちの生活とのかかわりについて考える。		
地域・学校	< 5・6年生 >		
	ボ ○宮崎の産業から、学区の未来像を考えよう ・学区の産業とその従事者の現状を知る。 ル ・学区の抱える課題の解決方法を考え、自らの生き方を見つめる。		
環境 (愛鳥活動)	【1～6年生】		
	元 ○野鳥に親しもう。 (探鳥会、野鳥検定などの活動を通して、年間10時間程度)		